

名も知らぬ遠き島より
流れ寄る椰子やしの実一つ



ふるさとの岸をはなれて
なれはそも波にいく月つき

NHK



もとの樹は生ひやしげれる
枝はなほ影をやなせる

NHK

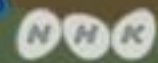


われもまたなぎさをまくら
ひとり身のうきねの旅ぞ

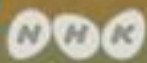
NHK



実^{あら}をとりて胸^{むね}にあつれば
新^{あら}たなり流離^{りゅうり}の憂^{うれ}ひ



海の日ずのしづむを見れば
たぎり落つ異郷い きょうのなみだ



思ひ^いやる^や八重^{やえ}の潮々^{しおじお}
いづれ^ずの日に^いか国^{こく}に帰らん

NHK

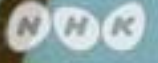


名も知らぬ遠き島より
流れ寄る椰子の実一つ



ふるさとの岸をはなれて
なれはそも波にいく月つき

もとの樹は生ひやしげれる
枝はなほ影をやなせる



われもまたなぎさをまくら
ひとり身のうきねの旅ぞ

実^{あら}をとりて胸^{むね}にあつれば
新^{あら}たなり流離^{りゅうり}の憂^{うれ}ひ

NHK





海の日ずのしづむを見れば
たぎり落つ異郷い きょうのなみだ

NHK

思ひいやるや八重えのし潮お々じ

NHK



いづれの日にか国に帰らん

NHK

